

今月の「教材作成」

リスニングの強化を目指して、
音の連結や脱落に慣れるための教材を作成！

函館工業高等専門学校 臼田 悦之 教授 にお話しをうかがいました。

音の連結・liaison のワークシートの作り方と使い方

- 1) 自由検索(センテンス)で、put it / watch out / check it out などよく耳にする音変化を調べます。
- 2) 検索結果のスキットのうち、内容のわかりやすさと音変化の聞き取りやすさを基準に、授業で使うスキットを選び、教材を作ります。



(教材例)

★スキットを聞いて、()内に聞こえた語を書きとりなさい。

Leslie: Many people saw the “missing cat” posters. Did anyone call you?

Hide: Yes. A woman (called) (us). She said she caught a cat like Tama.

Leslie: Did you (check) (it) (out)?

Hide: Yes. I went, but it was another cat... 2004 年度 基礎英語 1・2 月 放送分

★()内に入る語を聞き取って書きなさい。

1) At night, take the futon out of the closet and (put) (it) (on) the floor.

2) I don't know, it (must) (have) (been) a wrong number.

3) I (used) (to) go to see children's musicals with my mom in Japan.

音変化の教材を作成しやすい基礎英語 LEAD

この教材を作成するきっかけは、授業で音の連結(liaison)や脱落(elision)を教えていたときでした。

いつも通り、音変化について説明したあとに発音練習をしましたが、物足りなく感じていました。

それらの音変化が色々な場面で見られることを示したいと思ったからです。

そこで、豊富なスキットを有する基礎英語 LEAD で音変化を検索してみました。すると、一瞬で授業で使える音変化が次々とヒットしたのです。その時は何か**宝の山を掘り当てた気分**でした。

また、一つのスキットの中に、問題にできる音変化がいくつもあることに気付くこともあり、楽しくなります。

初級クラスであれば基礎英語 1 や2を選ぶなど、番組名を目安に、**スキットと教える対象の学生のレベル合わせがしやすく**、とても効率的です。



基礎英語 LEAD の良さ～音変化教材を作成して～

基礎英語 LEAD は臨場感たっぷりのスキットが多いので、単なる音変化を書きとるディクテーションにとどまらず、学生はスキットの内容も知ろうとします。また**日本と外国の文化が登場することが多いので、教員側としても教える手応えを感じられます。**

今回、基礎英語 LEAD は文法や機能だけでなく、単語の発音や音変化の指導にも使えることがわかり、**工夫次第では指導内容を更に広げていくことができる**と思います。

私が今手がけているのは、スキットをインプットやアウトプット用のタスクに活用することです。

いい教材ができましたら今後ご紹介していきたいと思います。

編集後記

音の連結や脱落などの音変化対策にも、基礎英語 LEAD で教材作成ができるというのは、基礎英語 LEAD チームにとって、新しい発見でした。臼田先生の今後の教材、お待ちしております！